

予算決算委員会会議記録

1. 日 時	令和4年6月21日（火）9：29～10：40
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	栗山泰三委員長、安井博幸副委員長、森本富夫委員、 足立義則委員、渡辺拓道委員、向井千尋委員、上田英樹委員、 園田依子委員、前田えり子委員、原田豊彦委員、大西基雄委員、 隅田雅春委員、大上和則委員、小島政行委員
4. 欠席議員	河南克典委員
9. 協議事項	議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）
10. 議事の経過	栗山委員長 挨拶 栗山委員長 開議宣告 9：29 開議 総務文教分科会座長報告 ■議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号） 向井座長より報告（別添参照）後、質疑応答。 ＜主な質疑応答等＞ — 質疑なし — 民生福祉分科会座長報告 ■議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号） 上田座長より報告（別添参照）後、質疑応答。 ＜主な質疑応答等＞ 隅田委員 子どもの食の応援事業について、昨年度が4団体で、今年度は5団体ということですが、新しく増えた1団体について、例えば地域なり、

団体の規模なり、その辺り説明を聞いておられたら紹介していただきたいと思います。

上田座長

まだ5団体とは決定してるわけではないということを聞いてます。特に、これからの夏休みに実施団体が増えてくるであろうということでした。また、どこの団体が増えたということは聞いておりません。

渡辺委員

同じ件でちょっとお伺いをしたいのですが、そういった支援は一定必要かというふうに思うわけですが、この補助金は、当初はそういった活動をしてもらう団体を増やしていこうというような形で、立ち上げ支援的な意味合いもあったのかなというふうに思ったんですけども、今回はどちらかという運営支援の意味合いになってきているのかなと思います。ですので、実際、運営支援ということになると、継続して支援をしていかなければならないのではと思うわけですが、その辺りについて、市として、どれくらいのサービスがあればいいのか、一定の到達点みたいなものを持って進めてもらうほうがいいのかなと思いますが、その辺りについて、行政側としては、まだ支援をする組織とか活動が不足しているというような認識をお持ちだったのかお伺いしたい。

上田座長

ご質問いただいたようなことについての質疑等はございませんでした。ただ、担当課からの説明によりますと、子どもの食の応援事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けている子育て世帯の生活を支援するためという説明があり、今回の歳入につきましても、新型コロナウイルス等感染症対策基金繰入金から財源を充当しているということでございますので、今回の補正予算に関しては、やはり新型コロナの感染状況が続く中、支援したいという意向であるということは確認をさせていただきました。

安井副委員長

予防費に関して、会議録にて3回目の接種をされていない方がこの締切り後に3回目接種された場合、その方へ4回目の案内通知は行くのかというふうな質問があったと思うんですが、その箇所について、質問と答えが一致してないように感じるんですが、実際の議論はどんなことだったんでしょうか。

上田座長

会議録の内容を見ていただいたとおりの議論でございました。今回の委員の発言につきましては、当日配られました「新型コロナワクチン4回目接種券発行についてのご案内」という、これから配られるパンフレットのゲラが配られました。この中で、申請の締切りの記載があったので、そのような質問があったということで理解しております。60歳以上の方につきましてはダイレクトメールであると、基礎疾患の

ある方については、各病院で、基礎疾患の診察をされてるので病院より対応があるであろうということでした。

産業建設分科会座長報告

■議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

大西座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

<主な質疑応答等>

隅田委員 プレミアムつき商品券事業について、前は先着順ということで混乱した、また買えなかった人もいたということで、今回は一人1冊の通知を8月31日に抽出した市民のところへ9月に送付し、それを受け取った人が10月から買って利用できるということですが、例えばこの4万セットが3万セットしか売れなかった場合、残った1万セットを再度販売いたしますという計画はあるのでしょうか。それとも、必ず4万セットは各世帯の人が買ってくれるという前提なのでしょうか。

大西座長 そういった質疑はございませんでしたが、「余った場合はどうするのか。せっかく国からいただいたので満額使えるようにしていただきたい」ということで、私から当局にその都度報告をいただくことを確認しています。

議員間討議

栗山委員長 討論、表決に入る前に、全体を通して何か御意見はありませんか。疑義がある場合、市長に確認しておきたい事項がありましたら、上げていただきたいと思います。何か御意見はありませんか。

安井副委員長 プレミアムつき商品券のことで、売れ残った場合どうなるのかという話が出ましたけども、議会として、議論があったように国からの交付金を全額使えるように、売れなかった場合はどういうふうに対策を打っていくんだということ定期的に私たちも確認して、政策を促すようなことをしていかなきゃいけないんじゃないかと思うんですが、その辺りを意見としてつけ足してはどうかと思うんですがいかがでしょうか。

隅田委員 会議録にそのような記述がなかったので、私はそのような質問を

したんですが、大西座長のほうから逐次、進捗状況を教えてほしいという要望が出されておりますので、こちらの意図も当局に伝わっておると思いますし、そういう中で、大きく売れ残るということであれば、再度、日を決めて販売をされるのではないかなと思います。その辺りは、大西座長のほうに報告ということですから産業建設常任委員会で最後の詰めをしていただけたらいいのではないかなと思います。

安井副委員長

隅田委員のおっしゃったことで、私もそれでいいと思います。そのような方向で所管の委員会にてよろしくお願ひしたいと思ひます。

足立委員

今の話で残った場合、もう一度売るといふような話ですが、また、財源が余らないといふ話ですけども、今回は、公平に皆さんに買ってくださいといふ案内を送られます。前回は、意思確認ではありませんが、大体これだけ売るといふことを見てから販売をしました。そのときも剰余金については、速やかに次の事業に展開するといふことでした。余ったら再度、売るといふことは、私は今までの事業と同じ様にコロナの場合はないと思ひてます。私は次の展開に持っていくべきだといふふうにかゝりますので、今のお話とはちよつと違ふ考えを持ひていますので、全員の意思統一でないといふことだけ意見を言ひさせていただきます。

栗山委員長

今、足立委員から、次の展開といふような意見も出ましたけど、どうでしょうか。

大西委員

先ほど座長報告の中でも申し上げたとおり、当局から逐一報告をいただく、そして、もし、予算が余る場合は、次の対策を早期に打ってもらふといふような話をさせていただきました。今回は、お1人お1人分のプレミアム付き商品券が用意されています。もう本当に赤ちゃんから、おじいちゃん、おばあちゃんまでいらつしゃたら、全員分が行きますので、いやこんなにたくさんうちは要らんわとおっしゃる方も多々あるかと思ひます。また、商品券の購入には一万円が必要なので、各家庭によつて考え方もあろうかと思ひますので、取りあへず、先ほど言われたように、余ったらどうするか、その次の考え方等は早め早めに当局からお話をいただいて産業建設委員会でも検討していきたいと思ひます。

渡辺委員

私も産業建設分科会のほうで、この案件については幾らか質問させていただきました。あくまでも当局側の今回の提案は、いろんな物価高騰に対しての対応として、その影響を受けてるのは全ての市

民であると。全ての市民であるので全ての市民の生活の底支えをするために全市民分の数を用意したということでしたので、こちらのほうもそのように理解をさせていただきました。そして、あくまでも、市は全ての市民を支えるということで事業を展開してくれるということで、この予算は審査してもらったらいいと思います。執行残の話は、今日、この場で検討するのは適切ではないと思いますので、まずは、市が提案している事業について妥当か、妥当でないかということだけ判断してもらいたいと思います。

栗山委員長

今、渡辺委員からも意見が出ましたので、今回の予算については、認めるか認めないかということで進めていきたいと考えます。予算が残る場合というのは、どんな予算でもあり得ることなので、そのときの対応は、また当局のほうから提案があるかと思いますので、今回はそのようなことで進めていきたいと思いますがよろしいですか。

— 異議なし —

栗山委員長

ほかにご意見はありませんか。

— 意見なし —

栗山委員長

それでは、他に意見がないようですので、今回は市長への確認質問は行いません。ここで暫時休憩とします。

(休憩 10:05～10:39)

討論・表決

栗山委員長

それでは、日程第5の表決を議題とし、これから討論を行います。

— 討論なし —

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

－ 討論なし ・ 賛成全員で可決 －

栗山委員長 委員会の審査報告については、委員長に一任願いたい。

－ 異議なし －

栗山委員長 本日の会議は会議記録については、事務局に調製させ、委員長、副委員長において内容確認を行いたいと思います。また、委員会の審査報告についてもご一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

－ 異議なし －

安井副委員長 挨拶

栗山委員長 散会宣告

10:40 散会